

北澤美術館 開館40周年記念特別展

# エミール・ガレ、 自然への眼差し

— 我が根は森の奥深くにあり —



2023 3.18<sup>\*</sup> SAT — 3.12 TUE 2024

開館時間 9時~18時(4月~9月)  
9時~17時(10月~3月)  
入館は閉館時間の30分前まで  
\*3月18日(土)一般公開13時より  
休館日 年中無休、9月30日(土)は  
一部展示替えのため休館  
入館料 大人1000円、中学生500円  
小学生以下無料  
\*団体(8名以上)上記より100円引



北澤美術館  
KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28  
TEL.0266-58-6000  
1-13-28 Kogandori, Suwa-shi, Nagano-ken,  
392-0027, JAPAN  
<https://kitazawa-museum.or.jp/>

[主催] 公益財団法人 北澤美術館 [特別共催] 信濃毎日新聞社 [共催] 長野日报社  
[後援] 日本ガラス工芸学会、諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会、一般社団法人諏訪観光協会、諏訪湖温泉旅館組合  
市民新聞グループ(7紙)、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、LCV  
[協賛] 株式会社キッツ \*株式会社キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館を支援しています。

エミール・ガレ ひとよ葎ランプ 1904年頃 / ひとよ葎花瓶 1900-1904年



# エミール・ガレ、 自然への眼差し

— 我が根は森の奥深くにあり —

長野県諏訪市の北澤美術館は、開館40周年を記念し特別展を開催いたします。19世紀末から20世紀初頭に活躍したフランスのガラス工芸家エミール・ガレ(1846-1904)は、草花や昆虫など自然のモチーフをデザインに取り入れ、1889年と1900年のパリ万国博覧会でグランプリに輝き、今日「アール・ヌーヴォー」と称する新しい時代様式を生み出しました。園芸愛好家で植物学者としても一家を成したガレが求めたものは、単なる植物や昆虫の写しではなく生命の躍動を伝える表現でした。自然に対するこうしたアプローチの背景には、当時ヨーロッパで流行したジャポニズムの影響がうかがえます。産業革命によって都市化が進み、人々の生活に潤いが失われつつあるなか、自然がもたらす癒しと安らぎを取り戻したいと願ったのです。開館40周年を祝う本展では、ガレが座右の銘として工場の入り口に掲げていた「我が根は森の奥深くにあり」をキーワードに、北澤美術館が所蔵するアール・ヌーヴォーの名作をとおして、自然に注がれたガレの熱い思いを探ります。



エミール・ガレ  
1. ひとよ葎ランプ 1904年頃  
2. 精繪文脚付杯 1904年  
3. 花形ランプ「睡蓮」 1900-1903年  
4. 脚付杯「けし」 1900年パリ万国博覧会出品作  
5. 花瓶「あざみ」 1900年パリ万国博覧会出品作  
6. 脚付杯「すみれ」 年記1900年  
7. 蘭文八角扁壺《親愛》 年記1900年  
8. 花形ランプ「アイリスのつぼみ」 1900年

## 関連イベント

### ■記念講演会

「エミール・ガレ、科学の眼と詩人の心」

講師：池田まゆみ（北澤美術館首席学芸員）

日時：2023年5月27日（土）14時-15時

入場無料、要入館券

### ■とよ田キノ子氏（きのこ愛好家）トークショー 「きのこを通して見るガレ」

ヒトヨタケはじめきのこをテーマに、そこから浮かび上がるガレの姿を掘り下げてください。

日時：2023年9月16日（土）13時-14時

入場無料、要入館券



■40周年記念感謝ディ（無料／半額入館）詳しくはホームページをご覧ください。



置物「ドレス姿の猫」  
1877-1904年

公式HPへQRコードから簡単アクセス  
<https://kitazawa-museum.or.jp>



### ■交通案内

電車…JR中央線  
上諏訪駅より徒歩約15分  
車…中央自動車道  
諏訪インターより約15分

### ■駐車場

バス10台・乗用車50台



**北澤美術館**  
KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28  
TEL.0266(58)6000